

巻頭言

熱輻射制御への期待とチャレンジ……………野田 進

解説

メタサーフェス完全吸収体と適応熱輻射制御…高原淳一
近接場熱輻射伝導の増強と同原理に基づく

新規デバイス……………飯塚英男ほか
熱工学と光学の融合からサーマルフォトニクスへ

……………櫻井 篤
光-分子結合を利用した超狭帯域赤外放射構造

……………森川淳子ほか
熱輻射スペクトル制御に基づく熱マネジメント技術の

応用とその発展……………清水 信ほか
フォーカス

直射日光下で周辺気温より低温となる日中放射冷却技
術の研究と社会実装……………末光真大

光学ハイライト
ベルリンでの研究滞在記……………鈴木杏奈

気になる論文コーナー

今後の特集予定

52 巻 8 号「細胞集団の状態や機能の可視化解析」

52 巻 9 号「光集積デバイスの実用化・高度化の最前線」

52 巻 10 号「スパース性に着目した光計測」

52 巻 11 号「テラヘルツ波技術の進展と社会実装への期待」

52 巻 12 号「わたしと光学教育」

おかげさまで多くの皆様のご協力のもと、今回も無事「2022 年日本の光学研究」の発刊に至りました。

ようやくコロナ禍も終息に向かい、日常生活だけでなく、研究生活にも以前の活気が戻ってきたように感じます。昨年 11 月にはそれに先んじて、宇都宮で OPJ 2022 が開催されました。しかし、すべてがすぐに元に戻るわけではありません。本格的な研究成果を上げるには一定の時間を要するもので、目に見える形で研究成果が上がってくるのはこれからでしょう。今回の特集号で紹介させていただいたすべての選定論文は間違いなく、コロナ禍の制約のある中で書き上げられた珠玉の一本です。日本国内のみならず、国際的にも高い価値の認められた研究成果を紹介する機会を得ましたことは、本特集号に携わったすべての光学編集委員にとって大変光栄なことでした。すべての光学編集委員が、一本一本の論文の重みを感じながら選定作業を進めた次第です。

最後になりますが、ご多忙の中、執筆をご快諾いただきました先生方にあらためて感謝申し上げます。また、各分野の研究動向を調査され、ご推薦いただきました皆様にも心より感謝申し上げます。皆様からの貴重な一本一本のご推薦がなければ、本特集号は成り立ちません。今年の秋には「日本の光学研究 2023」の募集を開始します。皆様からの奮ってのご推薦をお待ちしております。(杉田, 寺川, 中村, 水野, 酒井, 玉田, 山本, 芦原, 辻野, 金高)

原著論文を募集しています

「光学」では、日本語の原著論文を募集しています。会員・非会員を問わず、自由に投稿できます。皆様の意欲的なご投稿をお待ちしております。

また、上記に加え、特集テーマに関連のある原著論文も募集しています。この場合、採択となった論文はその特集号に合わせて掲載できるよう、査読作業をより迅速化いたします。特集テーマ関連の投稿締切は、当該特集号発行月の 4 か月前の 10 日です。特集号を明記のうえご投稿ください。

日本光学会ホームページ <http://myOSJ.or.jp/>

光 学 2023 ©

第 52 巻 第 6 号 <月刊>

2023 年 6 月 10 日 発行

定価 1,500 円 (送料実費)

発行/ 一般社団法人 日本光学会

〒112-0002 東京都文京区小石川 2-23-11

常光ビル 7F 有限会社学術新報社内

E-mail: info@myOSJ.or.jp

印刷/ 大昭和印刷株式会社

「光 学」編集委員会

山本 裕紹*	芦原 聡**	内田 美幸	江川麻里子
岡野 誉之	小野 雅司	角田 英俊	金高 健二†
黒坂 剛孝	小泉 直也	齋藤 直洋	酒井 大輔
下垣 哲也	庄司 暁	鈴木 良政	瀬谷 安弘
田代 知範	堅 直也	玉田 洋介	張 開鋒
角井 泰之	中川 桂一	中村 友哉	日達 研一
藤井 瞬	藤村佳代子	堀切 智之	堀崎 遼一†
水谷 康弘	水野 洋輔	三宅 大助	本山 央人
森本 智英	安田 英紀	山中 真仁	

*委員長 **副委員長 †光科学及び光技術調査委員長

編集局 新沢佐和美

制作/ 有限会社学術新報社

電話 03-3816-3991 Fax 03-3816-3992

E-mail: kogaku@academic-j.co.jp